

社会基盤メンテナンス教育センター (i M e c) 活動報告

i M e c フォーラム 2025

令和7年12月4日

キャンパスプラザ京都 第1講義室

本日の報告概要

はじめに（iMecについて）

1. 令和7年度事業・助成採択
 2. インフラメンテナンス技術者の育成
 3. 表彰
 4. 高専生，小中学生対象の教育活動等
 5. SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）
 6. （一財）高専インフラメンテナンス人材育成推進機構
- おわりに（継続と挑戦）

はじめに (iMecについて)

地元のインフラは 地元で守る。

社会基盤メンテナンス教育センター



iMec全景

Infrastructure
Maintenance
Educational
iMec Center

インフラの維持管理に関する実践的な教育システムを構築するため、2014年1月23日に舞鶴高専内に開設。全国の高専生や地方自治体職員，民間技術者などを幅広く受け入れ，現場に密着した教育センターとして，全国の産官学期間と連携し，維持管理技術に特化した人材育成やリカレント教育カリキュラム開発を実施。

《主な活動実績等》

※1 国土交通省登録資格

2014	社会基盤メンテナンス教育センター開設
2014~	インフラメンテナンス技術者育成のための講習会等開催
2015~	技術者育成のための教育プログラム開発(e+iMec講習会)
2016	技術資格“准橋梁点検技術者”，“※1橋梁点検技術者”創設
2017	第1回インフラメンテナンス大賞(国土交通省優秀賞)受賞
2019~ 2023	文部科学省Society5.0に対応した高度技術人材育成事業持続的な産学共同人材育成システム構築事業 (KOSEN-REIM) ⇒KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築
2021	技術資格“※1橋梁診断技術者”創設
2022	実務家教員称号“専門教士(建設部門)”付与開始
2023	(一財)高専インフラメンテナンス人材育成推進機構設立
2024	第8回インフラメンテナンス大賞(国土交通大臣賞)受賞

はじめに (iMecについて)

iMecは、全国の産官学機関と連携するとともに、活動に賛同いただいた皆様からの支援を受けて事業実施・運営しています

京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会

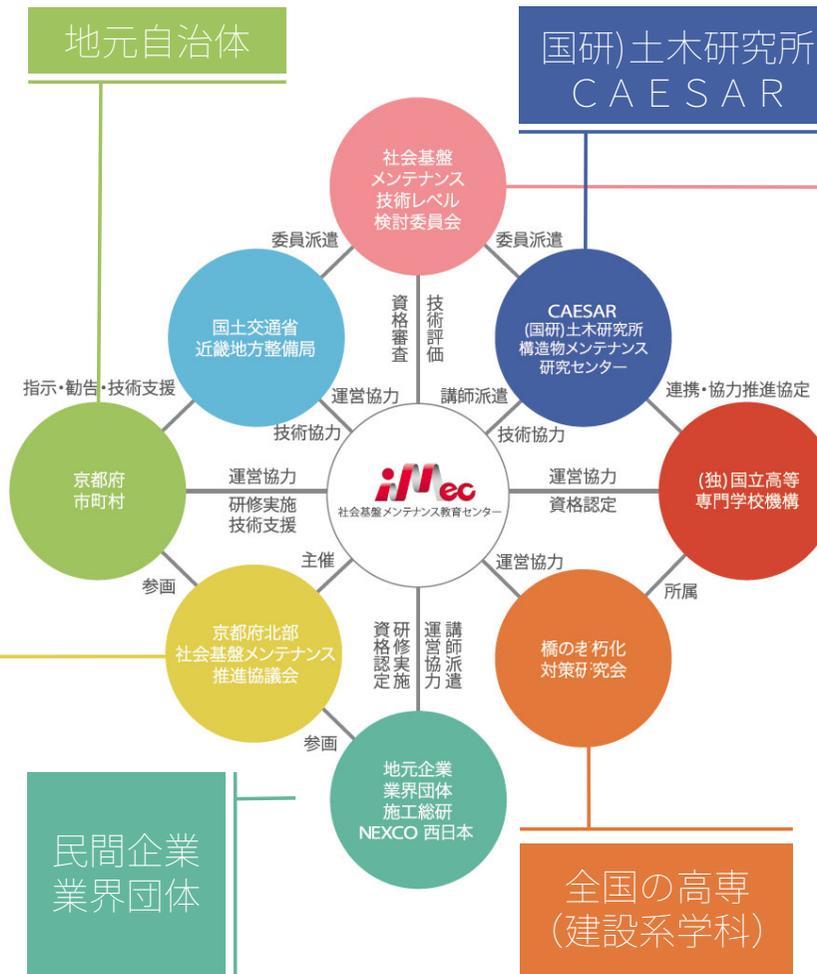
【構成員】

舞鶴工業高等専門学校、
京都府中丹広域振興局、
京都府丹後広域振興局、
舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市
京丹後市、与謝野町、伊根町
(一財)京都技術サポートセンター
(一社)京都府測量設計業協会
宮津建設業協会

- ・ 地域固有のニーズ・課題抽出
- ・ 教育プログラム実証・検証
- ・ 事業成果の普及・活用 等



令和6年度第2回
(R7.3.19開催)



民間企業 業界団体

全国の高专 (建設系学科)

社会基盤メンテナンス技術レベル検討委員会

【構成員】

国立研究開発法人土木研究所
国土交通省近畿地方整備局
京都府中丹広域振興局、舞鶴市
(一財)京都技術サポートセンター
(一社)建設コンサルタンツ協会
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会
(一社)日本橋梁建設協会
京都大学大学院 教授 高橋良和
舞鶴工業高等専門学校

- ・ 教育プログラムの技術審査
- ・ 技術資格認定
- ・ 文科省補助事業外部評価 等



令和7年度第1回
(R7.6.26開催)

1. 令和7年度事業・助成採択状況

全国の高専生及び土木技術者を対象とした教育プログラムの実証・検証

公募機関	事業・助成名称	実施内容
一般財団法人 上田記念財団	第16期 土木を通じた 地球環境維持活動助成金	建設系高専生のキャリア教育 e+iMec講習会【応用編(橋梁点検)】 コンクリートの品質管理

スマートインフラマネジメントシステムの構築

公募機関	事業・助成名称	実施内容
国立研究開発法人 土木研究所	SIP (戦略的イノベーション創造プログラム)	建設分野の専門基礎講座の開発と社会実装及びアウトリーチ方策の立案と検証

2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

- “e + i M e c 講習会”
- ステップアップ型教育プログラムと技術資格認定制度
- 技術資格登録状況
- 土木学会認定 i M e c - e ラーニング講座
- インフラメンテナンス分野の実務家教員の育成

2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

“e + i M e c 講習会”

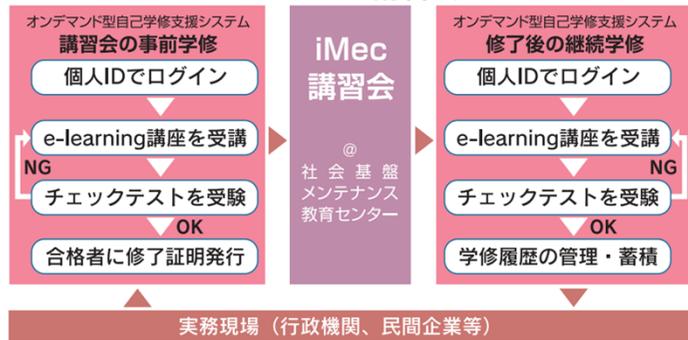
地域インフラを守る建設技術者のためのメンテナンス技術力向上プログラム

eラーニングと講習会を組合せた
アクティブ・ラーニング(能動的学修)



オンデマンド型 自己学修支援システム
実践を重視した 対面型・体験型の教育

“e + iMec講習会”



“e + i M e c 講習会” 講座一覧

基礎編 (橋梁点検)	橋梁長寿命化対策
応用編 (橋梁点検)	構造物の詳細調査
橋梁診断	施工技術と施工管理
コンクリートの品質管理	建設ICT
地盤と斜面(3日間コース)※岐阜大学ME連携講座	

e+iMec講習会
基礎編(橋梁点検)

コンクリート構造物及び鋼構造物の劣化・損傷に関する知識と橋梁メンテナンスの実践的技術を学ぶ!

取得できる資格
『准橋梁点検技術者』(独)国立高等専門学校機構理事長名で認定

対象
行政機関技術職員 及び 民間企業技術者

カリキュラム
1. 橋梁点検の基礎知識
2. 橋梁点検の実践的技術
3. 橋梁点検の報告書作成
4. 橋梁点検の安全管理

受講料 **44,000円(税込)**
日程 2025年度全10回開催
1/4(水)10:00-12:00 / 2/5(水)10:00-12:00
3/5(水)10:00-12:00 / 4/7(水)10:00-12:00
5/6(水)10:00-12:00 / 6/7(水)10:00-12:00
7/8(水)10:00-12:00 / 8/12(水)10:00-12:00
9/28(水)10:00-12:00 / 10/27(水)10:00-12:00
11/18(水)10:00-12:00 / 12/11(水)10:00-12:00

会場 社会基盤メンテナンス教育センター (岐阜工業高等専門学校内) 及び 協賛の会場

定員 10名

e+iMec講習会
コンクリートの品質管理

コンクリートの特性及び構成材料に関する基礎知識、ならびにコンクリートの品質管理に必要な知識を学ぶ!

対象 CPDS認定対象講習会
行政機関技術職員 及び 民間企業技術者

カリキュラム
1. コンクリートの基礎知識
2. コンクリートの材料
3. コンクリートの施工
4. コンクリートの品質管理

受講料 **60,000円(税込)**
日程 2025年10月16日(木) 11月13日(木)
※全日程にご参加ください

会場 社会基盤メンテナンス教育センター (岐阜工業高等専門学校内)

e+iMec講習会
地盤と斜面

斜面防災に必要な知識を学ぶ!

対象 行政機関技術職員 及び 民間企業技術者

受講料 **45,000円(税込)**
日程 2025年11月28日(金)~30日(日)
講習会 (2日間) + eラーニング (1日間)

会場 社会基盤メンテナンス教育センター (岐阜工業高等専門学校内) 及び 協賛の会場

カリキュラム
1. 地盤と斜面の基礎知識
2. 地盤と斜面の調査
3. 地盤と斜面の設計
4. 地盤と斜面の施工

講師の紹介
社会基盤メンテナンス教育センター 講師 佐藤 浩一 氏

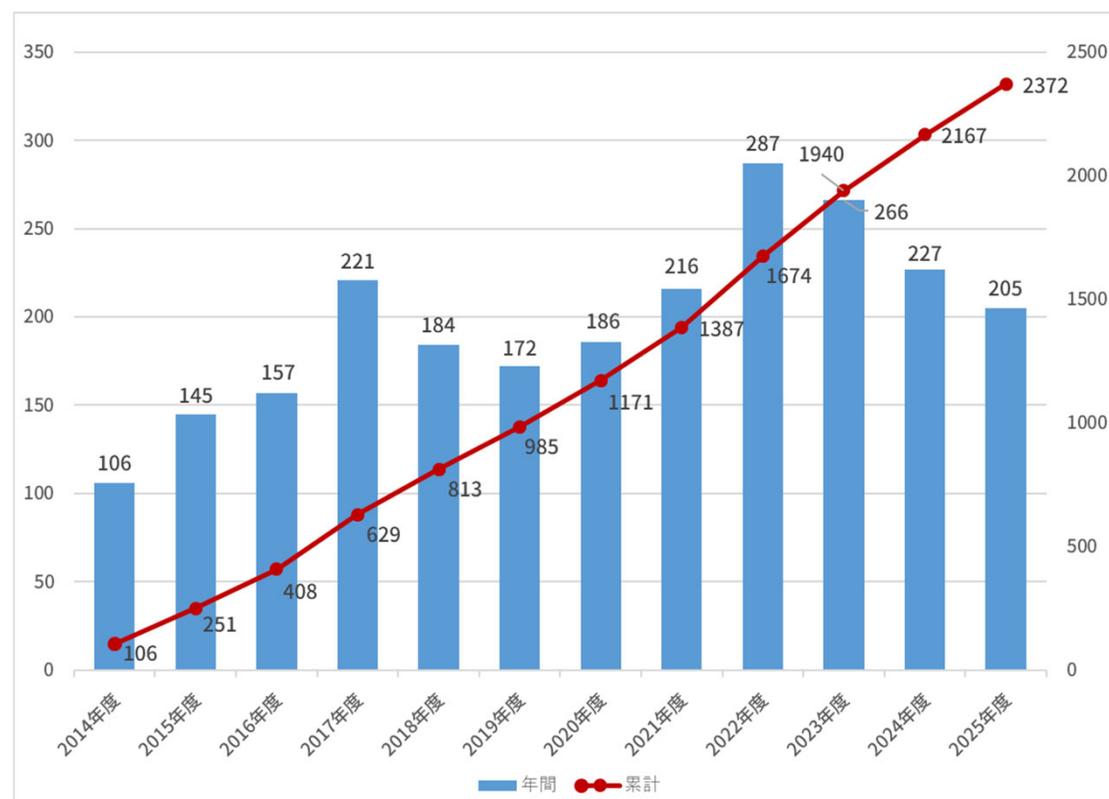
2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

“e+iMec講習会”

・受講者数の推移

リカレント教育講座名	行政	民間	学生	合計
基礎編（橋梁点検）※	318	1277	185	1780
応用編（橋梁点検）※	34	222		256
橋梁診断	3	16		19
橋梁長寿命化対策	9	21	0	30
構造物の詳細調査	11	22	0	33
施工管理と施工技術	11	17	1	29
建設ICT	8	17	0	25
コンクリート	23	14	50	87
地盤と斜面	39	25	1	65
舗装	10	12	3	25
非破壊	8	15	0	23
合計	474	1658	240	2372

※連携4高専での基礎編受講者（407人），応用編受講者（46人）を含む



2025年11月30日時点

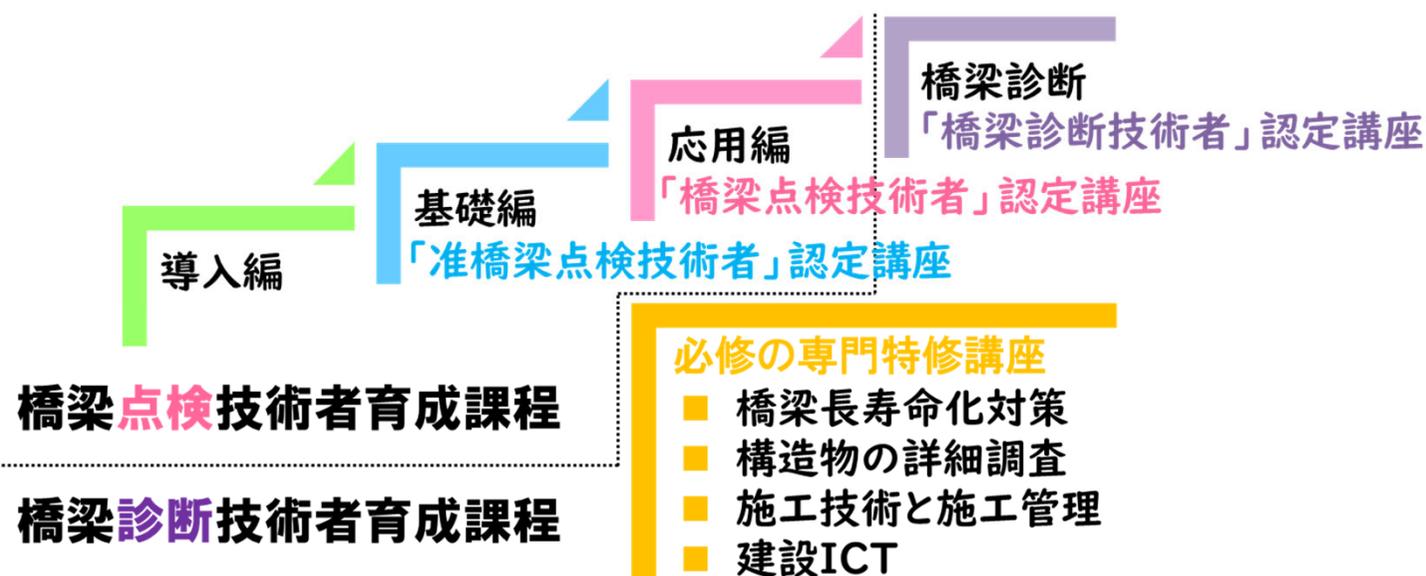
2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

“e + i M e c 講習会”

各講座の詳細や開催状況は、舞鶴高専 i M e c ホームページ「活動日記」をご覧ください。



2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成 ステップアップ型教育プログラムと技術資格認定制度



 Bridge Diagnostic Engineer
橋梁診断技術者

国土交通省登録資格
(品確技資第336号・第342号)

 Bridge Inspection Engineer
橋梁点検技術者

国土交通省登録資格
(品確技資第170号・第183号)

 Associate Bridge Inspection Engineer
准橋梁点検技術者

登録番号 品確技資第○号	資格の名称	資格が対象とする区分			登録年月日 (初回登録)
		施設分野	業務	知識・技能を求める者	
第170号	橋梁点検技術者	橋梁 (鋼橋)	点検	担当技術者	R4.2.22 (H29.2.24)
第183号	橋梁点検技術者	橋梁 (コンクリート橋)	点検	担当技術者	R4.2.22 (H29.2.24)
第336号	橋梁診断技術者	橋梁 (鋼橋)	診断	担当技術者	R4.2.22 (R4.2.22)
第342号	橋梁診断技術者	橋梁 (コンクリート橋)	診断	担当技術者	R4.2.22 (R4.2.22)

2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

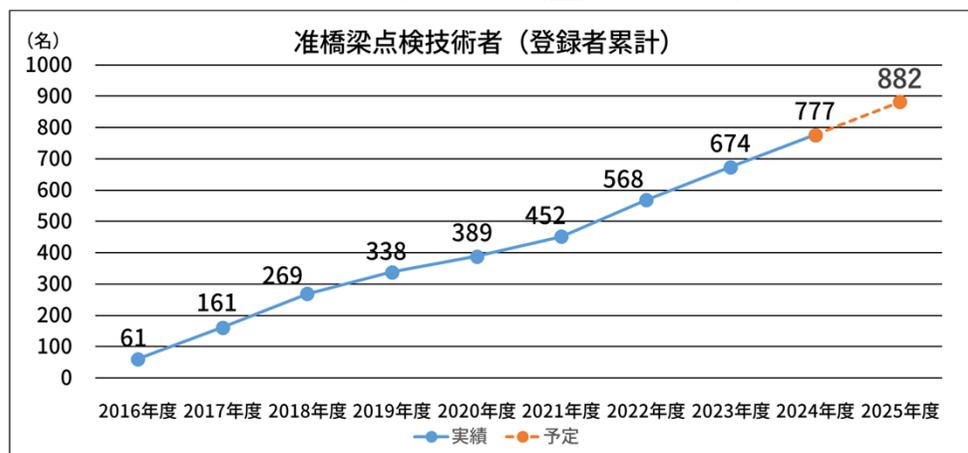
技術資格登録状況

准橋梁点検技術者・橋梁点検技術者・橋梁診断技術者の登録状況（2016～）

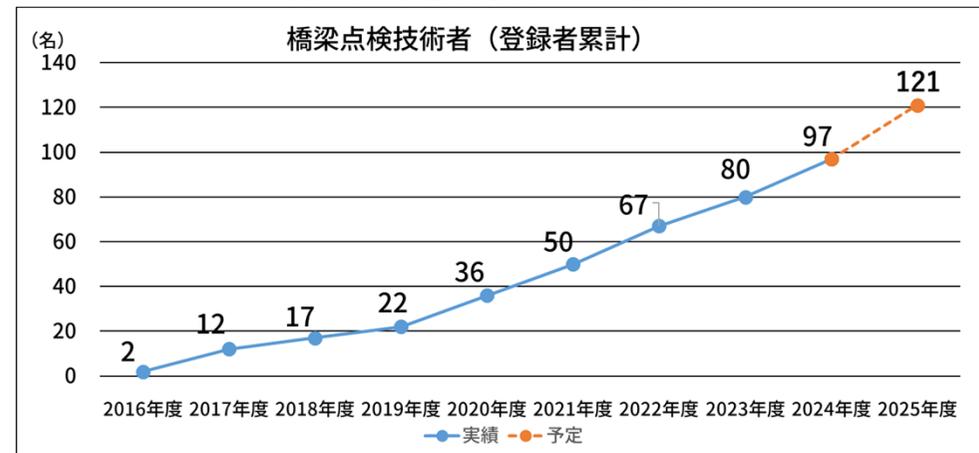
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
准橋梁点検技術者 (名)	61	100	108	69	51	63	116	106	103	105
橋梁点検技術者 (名) ※1	2	10	5	5	14	14	17	13	17	24
橋梁診断技術者 (名) ※1	-	-	-	-	-	2	1	1	5	2

※2025年11月30日時点

准橋梁点検技術者（登録者累計）



橋梁点検技術者（登録者累計）



2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

土木学会認定 i M e c - e ラーニング講座

土木学会認定土木工学コース（オンライン学習講座）第一弾

- ✓ 受講料 11,000円（税込）
- ✓ 受講対象 橋梁メンテナンスに関心のある方（前提知識不要）
- ✓ 学修時間 約8時間／9科目
- ✓ C P D 20単位登録可能（修了要件を満たし，修了証を得た場合）
- ✓ 申込URL https://www.netlearning.co.jp/learningexchange/le_09.asp



土木学会提供
e-ラーニング講座

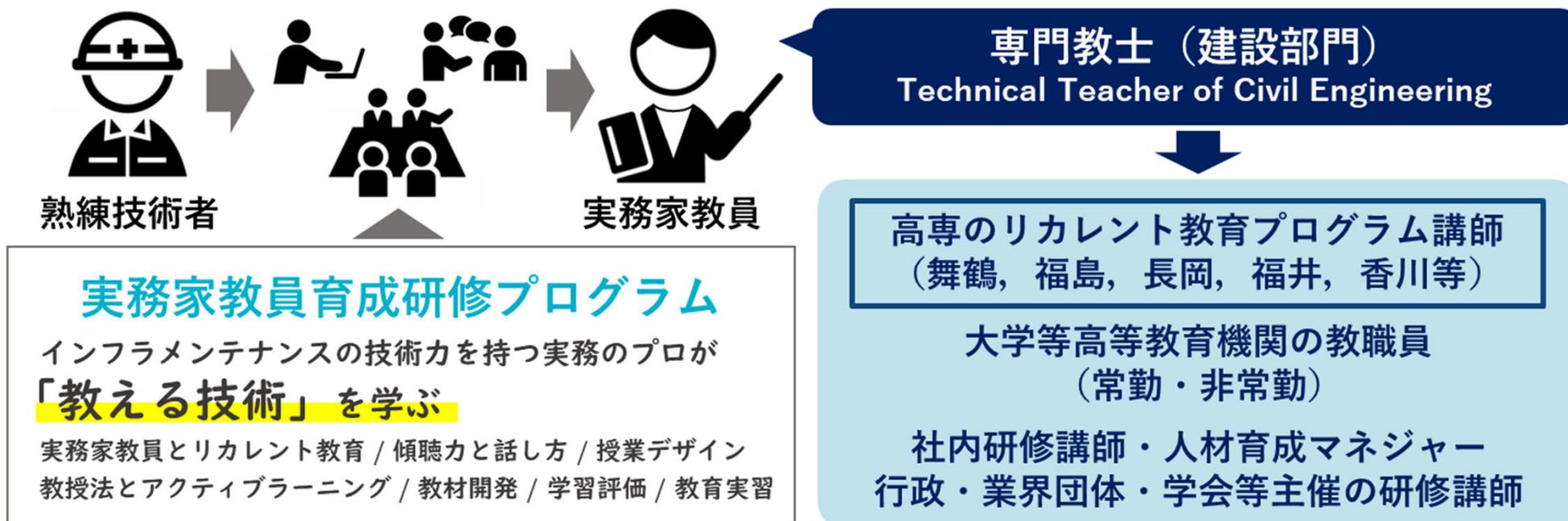
橋梁点検【基礎編】

2020年5月22日 開講

受講申し込み受付中 

2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

インフラメンテナンス分野の実務家教員の育成



2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

インフラメンテナンス分野の実務家教員の育成

実務家教員育成研修プログラム
(7講座, 計90時間)

- 1 実務家教員の教養講座**
実務家教員としての教養を高め、教育・研究者としての資質を養う
- 2 実務経験と専門性の棚卸講座**
実務経験を言語化して体系的に整理し、実務家教員として専門性を認識する
- 3 実践講義力養成講座**
講義力とファシリテーション力を身につけ、講師としての魅力を高める
- 4 リカレント教育体験講座**
リカレント教育を実体験し、目指すべき実務家教員像を具体化する
- 5 教育能力養成講座**
教えるための技能(学修設計・指導・評価能力)を修得する
- 6 実証講座教育実習**
実証講座の設計・指導・評価を行い、実務家教員としての実践を経験する
- 7 プログラム終了評価**
プログラム全体を振り返り、実務家教員としての役割とキャリアパスを考える

実務家教員の教養 7月初 実務経験と専門性の棚卸

- ・実務家教員とは?
- ・私のミッションとは?



第1回@オンライン

リカレント教育体験 8月

- ・受講者体験&指導方法解説
- ・実務家教員像の具体化



第3回@舞鶴高専

実証講座教育実習 1月

- ・教育実習プログラムの開発
- ・高専生への指導・評価



第5回@舞鶴高専

第2回@大阪会場

第4回@大阪会場

第6回@オンライン

実践講義力養成 7月末

- ・傾聴力・話し方
- ・講師のコミュニケーション力



教育能力養成 10月

- ・教育設計・指導・評価
- ・教育実習プログラムの検討



プログラム修了評価 2月

- ・一年間の学びの総括
- ・実務家教員としての行動計画



2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

インフラメンテナンス分野の実務家教員の育成

専門教士（建設部門）の認定・称号付与

■ 付与称号の名称，英語表記，専門領域

名称：専門教士（建設部門）

英語表記：Technical Teacher of Civil Engineering

専門領域：建設（社会基盤の整備及び維持管理）

■ 付与要件：専門教士（建設部門）付与制度実施要綱

■ 認定要件：専門教士（建設部門）認定基準

■ 称号付与者数：37名（2025.3.31時点）



- ・委員長 中井俊樹氏 愛媛大学 教授
- ・副委員長 中島英博氏 立命館大学 教授
- ・外,委員6名（コンソーシアム構成員）

実務家教員育成研修プログラム評価委員会

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター

実務家教員育成研修プログラムを受講して全課程を修了

プログラム修了者の評価

実務家教員育成研修プログラム評価委員会

「専門教士（建設部門）」の認定審査

適格者の認定

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター

審査結果通知

称号付与申請受付

決裁資料を送付

舞鶴工業高等専門学校総務課地域連携・研究推進係

称号付与者決裁

登録証発行（原紙へ押印）

押印済み登録証原紙を返送

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター

登録者名簿への登録

登録証を称号付与者へ郵送

称号認定・称号付与の流れ

2. インフラメンテナンス技術者と実務家教員の育成

インフラメンテナンス分野の実務家教員の育成

実務家教員『専門教士（建設部門）』の活躍・活用

- 高専のリカレント教育プログラム（e+iMec講習会等）
- 高専生を対象としたキャリア教育
- 財団KOSEN-REIMと連携した地方自治体等への技術支援 など

e+iMec講習会（舞鶴高専及び連携高専）

本科4年生対象授業『専門AL』

高専生へのキャリア教育



【橋梁診断】



【橋梁点検（基礎編）】



【構造物の詳細調査】



【橋梁点検（応用編）】



実務家教員育成プログラム(2024年度・第4期)実証調査報告書
建設系高専生のためのキャリア教育プログラム

実務家に学ぶ インフラ メンテナンス 講座

土木技術者へ。
「最初の扉」を開けてみる

この講座は、インフラメンテナンス現場で活躍する実務家が、高専生へ向けに開催したインフラメンテナンス導入講座です。

開催日
2025 1/18・19

講座概要

2025年1月18日(土) 9:00-16:00
7:00-16:00【講座料】
知識の「One Team One Goal」～等価者・点検者・設計者・施工者～
有田 博隆 (明治大学インフラストラクチャーセンター)
石川 剛史 (SHIKAWA Takashi) 株式会社 建設現場
2025年1月19日(日) 9:00-16:00
9:00-16:00【講座料】
社会インフラの時代～メンテナンス技術の発展～
石川 剛史 (SHIKAWA Takashi) 株式会社 建設現場
18:00-16:00【夕食会】
実務家と高専生を繋ぐ
講座名に参加した高専生(受講者)と実務家(講師)による懇話会

会場
舞鶴工業高等専門学校
本館4階大会議室及び社会基盤メンテナンス教育センター

● 受講者募集【11/23締切】
対象：本科4・5年生及び専攻科生

● 【講習会Ⅰ】カリキュラム・講師紹介
【1-1】道路の老朽化対策の現状と今後
青山 淳 (AOYAMA Jun)
国土交通省国土政策局
建設局国土政策課長
建設局国土政策課長

● 【1-2】橋梁点検の魅力
井川 剛史 (IKAWA Katsufumi)
株式会社インフラメンテナンス
代表取締役 部長

● 【1-3】すぐく大専生に役立つ
東 弘幸 (AZUMA Hiroyuki)
株式会社アリア
代表取締役 部長

● 【1-4】建設工事の品質管理
前田 晴雄 (MAEDA Haruo)
株式会社アリア
代表取締役 部長
建設局国土政策課長
建設局国土政策課長

● 【1-5】橋梁の設備と評価、参加・体験授業
インフラメンテナンスのワンチーム
メンバー：前田晴雄、井川剛史、青山淳、東弘幸

● 【講習会Ⅱ】カリキュラム・講師紹介
【2-1】鋼橋（鋼桁と鉄筋）の更新
石川 剛史 (SHIKAWA Takashi)
株式会社インフラメンテナンス
代表取締役 部長

● 【2-2】コンクリート水害の補修対策
松田 展也 (MATSUDA Ken-ya)
株式会社アリア
代表取締役 部長

● 【2-3】グラウンドアンの点検
寺埜 剛賢 (JIJIEI Rorishige)
株式会社アリア
代表取締役 部長

● 【2-4】補修材の品質管理、参加・体験授業
田中 誠
メンバー：石川 剛史、松田展也、寺埜剛賢

3. 表彰

国土交通省（他7省）主催の第8回「インフラメンテナンス大賞」で、舞鶴・福島・長岡・福井・香川の5高専を中心に産官学と地域でREIM産学連携コンソーシアムを発足し、“地元のインフラは地元で守る”をモットーに地域に軸足を置くインフラメンテナンス人材育成システムを構築した「REIM産学連携コンソーシアム」が「メンテナンスを支える活動部門」で国土交通大臣賞を受賞しました。



国土交通大臣賞

KOSEN-Recurrent Education of Infrastructure Maintenance

舞鶴高専iMecから
連携4高専へ展開
(福島, 長岡, 福井, 香川)

全国の高専へ

実務家教員育成研修プログラムの開発・実施
実務家教員の育成

インフラメンテナンス分野の
人材育成・技術継承の担い手を育成

リカレント教育プログラムの開発・実施
インフラメンテナンス技術者の育成

各地域の高専のリカレント教育拠点で
実務家教員が活躍



全国の高専へリカレント教育拠点を展開

実施状況: 実務家教員育成研修プログラム(教育実習)



実施状況: 准橋梁点検技術者認定講座





リカレント教育拠点の全国展開

道路分野 KOSEN型産官学プラス地域共同
インフラメンテナンス人材育成システムの構築

インフラメンテナンス大賞 国土交通大臣賞受賞
インフラメンテナンス大賞表彰式 令和7年1月16日 於：首相官邸2階大ホール



写真1 賞状授与の様子



写真2 集合写真



写真3 表彰状

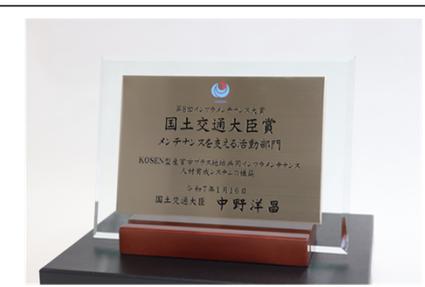


写真4 盾

4.高専生，小中学生対象の教育活動等

- 建設系高専生のキャリア教育（上田記念財団助成）
- 小中学生向け出前授業
- インフラメンテナンス国民会議への出展・登壇

4. 高専生，小中学生対象の教育活動等

建設系高専生のキャリア教育（上田記念財団助成）

- e + i M e c 講習会【基礎編（橋梁点検）】のカリキュラムを，高専生向けに5日コースとして再構築

【実施期間】 2025年8月18日～22日

＊事前学修eラーニング1カ月間

【受講者数】 計7名

【参加高専】

- 木更津高専
- 石川高専
- 和歌山高専
- 呉高専
- 舞鶴高専



4. 高専生，小中学生対象の教育活動等

小中学生向け出前授業

・やぶ・ふるさとキャリア教育講演会

【日時】 2025年6月16日

【講師】 舞鶴高専建設システム工学科 教授 玉田和也

【対象】 養父市大屋中学校3年生20人

【内容】 「レオナルド・ダ・ビンチの橋を作ろう」

模型作り，橋クイズ，技術者の仕事について，舞鶴高専について



4. 高専生，小中学生対象の教育活動等

・公開講座

【日時】 2025年5月17日

【講師】 舞鶴高専建設システム工学科

教授 玉田和也

【対象】 小学5年生～中学生

【内容】 「レオナルド・ダ・ビンチの橋を作ろう～
模型で学ぶ橋の仕組みと形～」

・中丹キッズJOBフェスタ

【日時】 2025年8月2日

【講師】 舞鶴高専建設システム工学科

教授 玉田和也

【対象】 小中学生

【内容】 「レオナルド・ダ・ビンチの橋を作ろう」



4. 高専生，小中学生対象の教育活動等

インフラメンテナンス国民会議
近畿フォーラム2025へ出展

【日時】 2025年5月22日・23日
【会場】 花博記念公園鶴見緑地内/
ハナミズキホール



建設技術展2025近畿へ出展

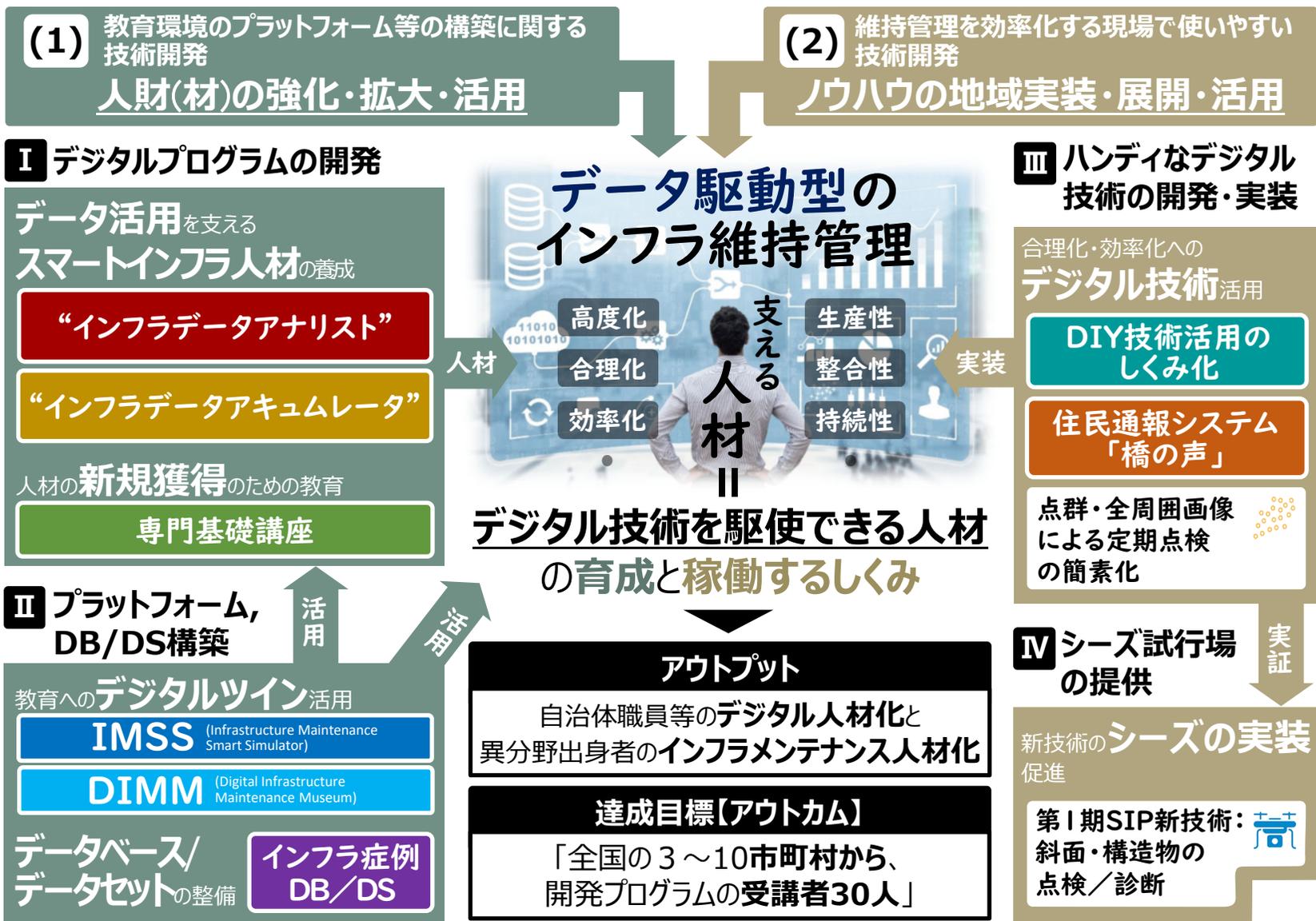
【日時】 2025年10月30日・31日
【会場】 インテックス大阪
【来場者数】 17,535人（延べ）



5. SIP (戦略的イノベーション創造プログラム)

研究開発テーマの概要

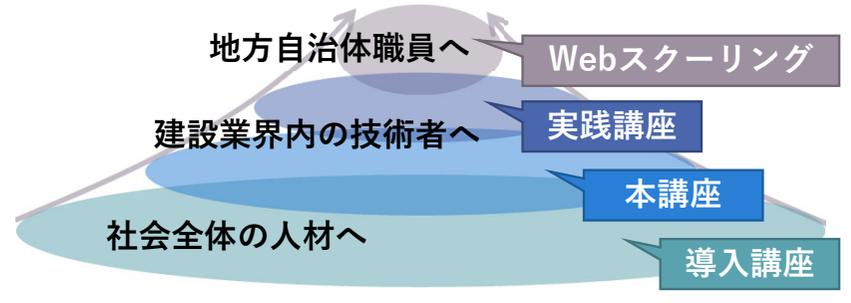
(c-1: 地方公共団体におけるインフラマネジメントの効率化技術)



専門基礎講座の社会実装・運営スキーム・アウトリーチイメージ

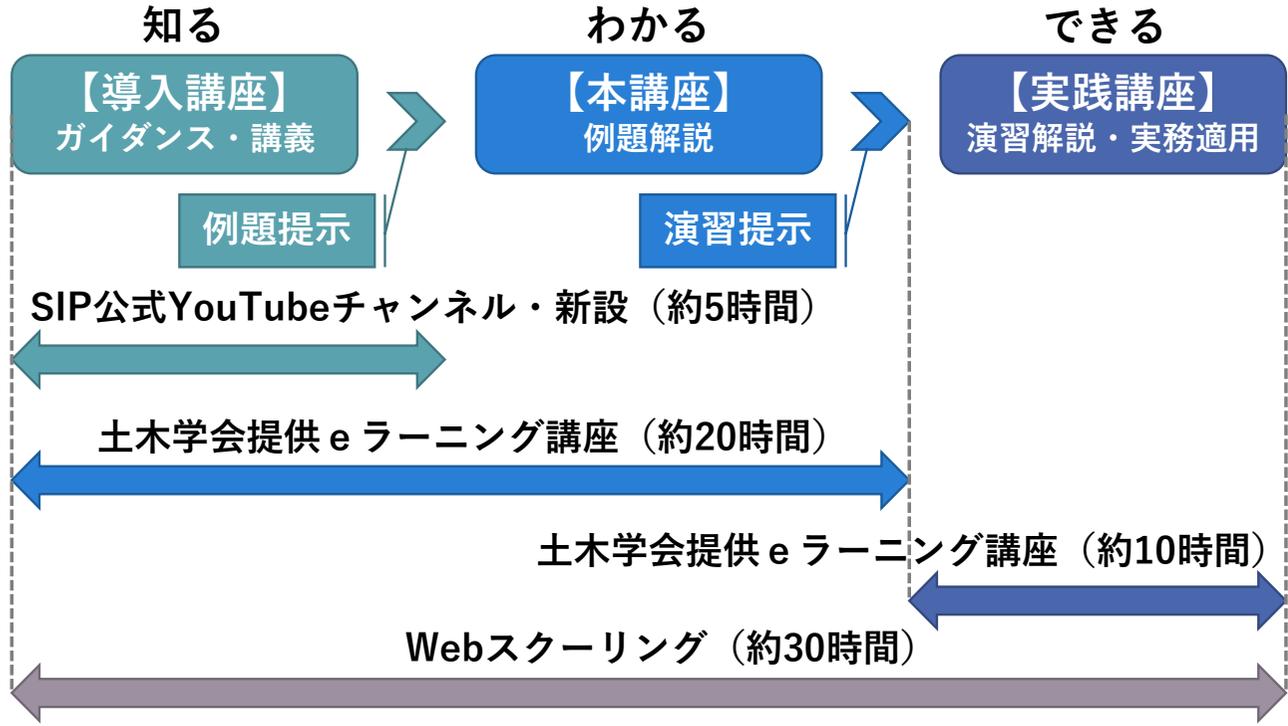
異分野登用された地方自治体職員が、建設分野の専門基礎力を養う『専門基礎講座』を開発・社会実装
 ⇒ **スマートインフラマネジメントシステムの人的基盤を構築**

★専門基礎講座のアウトリーチイメージ



専門基礎講座	～2025	2026	2027
土木工学概論	講座開発 ・シラバス ・教材 ・動画	講座試行 ・効果検証 ・改良等	講座開講 ・土木学会 eラーニング
構造力学			
建設材料学			
土木施工	開発準備 ・資料収集 ・資料整理	講座開発	Webスクーリング試行
地盤工学			
測量			専門基礎講座カリキュラム作成

aico(あいこ)
 ～AIと共に～
 SIPスマートインフラ
 マネジメントシステム
 専門基礎講座キャラクタ



受講料	運営管理者	インセンティブ
なし (無料公開)	舞鶴高専	—
有料 ¥11,000(P)	土木学会 (株)ネットラーニング	土木学会CPD 20ユニット(P)
有料 ¥11,000(P)	土木学会 (株)ネットラーニング	土木学会CPD 20ユニット(P)
有料 ¥44,000(P)	舞鶴高専	履修証明書※ オープンバッジ(P)

※土木学会提供 eラーニング講座とWebスクーリングで履修証明プログラムを構成

専門基礎講座_SIP公式YouTubeチャンネル(新規開設)イメージと掲載コンテンツ例

➤SIP公式YouTubeチャンネルイメージ



➤動画コンテンツリスト (1単元の1つのコンテンツ動画は10分程度)

土木工学概論	構造力学	建設材料学
<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方・土木工学とは 土木と社会基盤 土木の歴史 国土計画 交通と運輸 利水・治水 上下水道 暮らしとまちづくり コンクリートのはなし 自然災害と防災 技術者倫理 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方・なぜ構造力学を学ぶのか 力のつり合い・座標系・その他 荷重・反力・断面力 境界条件・力の表記方法 構造力学の問題を解くとは 反力の計算(力のつり合い条件・モーメントの考え方・はりの問題・静定ラーメンの問題) 内力のはなし せん断力の計算(集中荷重・分布荷重・モーメント荷重) せん断力図の描き方 	<ul style="list-style-type: none"> PCコンクリート構造 学習の進め方・建設材料の概説 建設材料の基本的性質、規格、使用方法 建設材料の力学的性質 コンクリートの概要 コンクリート構成材料 フレッシュコンクリート 硬化コンクリートの物性・耐久性 鋼材 打設のはなしと初期欠陥 鉄筋コンクリート構造 コンクリートに係る実験・試験

➤動画コンテンツ用スライド(例)

土木工学概論第3回

土木工学概論第3回

築土構木

1. 社会基盤と土木

表 土木事業によって建設される主な社会基盤

交通施設	陸上交通 航空・海上交通	道路、鉄道施設、橋梁、トンネルなど 空港、港湾施設、運河、河川など
生活関連施設	供給・処理施設 公共空地	上下水道、し尿・廃棄物処理など 公園、広場、緑地など
エネルギー施設	情報通信施設 電気供給施設	通信ケーブル、アンテナなど 発電施設、送電施設など
国土保全施設	ガス供給施設 地熱・自然エネルギー施設	ガス生産施設、供給施設など 地熱、太陽光、風力発電施設など
	治山・治水 海岸保全	ダム、砂防堰堤、堤防など 海岸防衛、高潮防波堤など

【事例】三宅堂 大塚林 第3版
① 仕事、特に、社会的意義のある大きな仕事、「維新の一」「福祉一」

2. 社会基盤の整備

社会基盤(インフラストラクチャー)は、それぞれを互いに関連させてはじめてしゅふんな機能を発揮する。
しかし、現在整備されている社会基盤の多くは高度経済成長期に建設されており、その多くは老朽化している。
将来にわたって持続可能であるためには、社会基盤の再編成や維持管理をしていくことが求められる。

構造力学 第5回

勉強の準備をしましょう

境界条件

境界条件：自由度を拘束すること
拘束すると、力(反力)が発生

橋の場合は支点条件とが支保条件ともいいます
橋と地球との間に設置されるものです

力の表記方法(土)

ベクトルの3要素
作用点：支点、荷重位置、切断位置
作用線：水平、鉛直、回転
力の向き：これを定義しないと!!

➤例題提示イメージ(例：構造力学)

B1a

例

水平反力は右向き(+)、否定する
鉛重反力は上向き(+)、否定する

B1b

①

①式に上の値を代入すると、
 $R_A + 10[kN] - 12[m] = 0$
 $\Rightarrow R_A = 2[kN]$

高専から全国へ インフラメンテナンス人材の輪を広げる

高専インフラメンテナンス人材育成推進機構は、高専発のインフラメンテナンス技術者育成を継続的に発展させ、自治体等への技術支援を行う財団法人です。(2023年6月設立)

『事業概要』

01 インフラメンテナンス人材の育成・教育支援

・技術者育成と建設系高専生の教育を支援

02 インフラメンテナンス教育環境の整備・提供

・実習フィールド提供と全国高専への拡大を支援

03 “地元のインフラ”を守り魅力を伝える

・小中高生対象のインフラ教育を支援

04 地方公共団体等に対する技術支援

・財団法人のネットワークを活用した取組み



6. (一財)高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

KOSEN-REIM

一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

TOP 事業概要 連携高専 設立賛同者・会員 お知らせ 公開文書



一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構(KOSEN-REIM)は、各地の高専におけるインフラメンテナンス人材の育成・教育を支援するとともに、地元のインフラを守るための地方公共団体その他への技術支援を行います。さらに、土木・建設系学科を有する全国の高専へのインフラメンテナンス教育環境の整備を目指します。

財団の詳細と入会・寄附のお申込みは
ホームページをご覧ください。

<https://www.kosen-reim.or.jp>

『会員数』

- ・法人 58団体
- ・個人 4名
- ・行政 13団体

※2025年11月時点

会員の皆さまからお預かりした資金は、高専におけるインフラメンテナンス人材育成の支援をはじめとする各種事業に有効に活用させていただいています。



KOSEN-REIMフォーラム2025 in大阪

2025年7月31・8月1日
開催



KOSEN-REIM フォーラム2026 in 東京

■ フォーラム：2026年7月30日（木）

会 場：イイノホール&カンファレンスセンター

基調講演：春日 昭夫氏

三井住友建設株式会社 エグゼクティブ・フェロー

■ 見学会：2026年7月31日（金）

場 所：都内（調整中）

開催
予告



〈継続〉

- インフラメンテナンス分野の技術者及び実務家教員の育成
- 技術資格認定制度及び専門教士（建設部門）称号付与制度
- 地域との連携（地域連携協議会，地方公共団体への技術支援等）
- 未来のインフラメンテナンス技術者（小中高・高専生）の育成

➡  一般財団法人による支援と連携・協力

&

〈挑戦〉

- 建設分野の教育を受けた技術者の割合が低下し，スキル修得の基盤となる知識・技術力が不足。
→ 土木工学の基礎を学ぶリカレント教育プログラムの開発・実施
- 研究・活動成果のアウトリーチ活動の展開

➡  **SiP** 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program
第3期「スマートインフラマネジメントシステムの構築」

地元のインフラは地元で守る。

社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）活動報告
ご清聴ありがとうございました

iMecフォーラム2025

令和7年12月4日

キャンパスプラザ京都 第1講義室



Dr. MAMORUN